

森で
学ぼう

親子「子ども樹木博士」 チャレンジ！2022

福島森林管理署では平成26年度から、福島民友新聞社との共催で「子ども樹木博士」のイベントを開催しています。

この「子ども樹木博士」は、木の名前を識別できるようになることを通じて森林に親しんでもらう活動で、今年は7月24日に「森で遊ぼう 親子『子ども樹木博士』チャレンジ！2022」と銘打ち、福島市土湯温泉近くの国有林内にて、10家族27名の参加者を迎えて開催しました。

はじめに、参加者は少人数の班に分かれて林内に入り、森林管理署職員から樹木の樹皮や葉の特徴、匂いや用途などの説明を受け、その後15種の樹木の識別試験に挑戦しました。



試験では、試験木を行ったり来たり、自分の記憶を呼び起こすのに苦戦しながらも問題に挑戦していました。

採点中の待ち時間に子どもたちは木工クラフトにも挑戦！木の写真立てや木製コースターを熱心に作成していました。

また、今年度は「放射線を学ぶ紙芝居」を行い、クイズを交えながら、放射線に関する基礎知識を学びました。



最後に福島森林管理署長から「子ども樹木博士」の認定書が参加者全員に授与され、嬉しそうに受け取っていました。

「木の名前がわかると山を歩くのも楽しくなりそう！」、「初めて見るものも多く楽しい体験ができました！」と子どもたちだけでなく、親御さんにもよい体験となったようです。

当日の様子が福島民友新聞にも掲載されました。
「樹木博士」目指し森を散策 福島で親子イベント 福島民友ニュース 福島民友新聞社 みんゆうNet (minyu-net.com)
<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20220726-718732.php>